

SFMの研修カリキュラムの強み（特色）

産婦人科、整形外科、精神科、泌尿器科、皮膚科、 緩和ケア研修を必須としています！

当プログラムのキャッチフレーズは「子宮の中から天国まで」。各家庭医療センターでは、0歳から100歳まで様々な世代、疾患の患者さんが来院されます。小児科、救急はもちろんのこと、上記診療科を研修の必須科として、SFM独自の実践的な研修を行っています。地域で暮らす人の全てのニーズに応えられるよう全科診療のスキルの習得を目指します。

「総合診療専門医」「新・家庭医療専門医」の 2つの受験資格が得られます。

当プログラムでは3年で「総合診療専門医」、+1年の研修で「新・家庭医療専門医」の受験資格を得ることができます。日本専門医機構と日本プライマリ・ケア連合学会のプログラムの連動型研修として、2つの資格が最短で取得できる4年間の研修をお勧めしております。それぞれの資格を受験する際のポートフォリオの作成も研修中に指導を受けることができますので、専門医試験対策もばっちりです！

年間を通してグランドラウンド（GR）という一貫した 横断的教育コンテンツが用意されています！

臨床経験を通じた自己省察や多領域の講師によるレクチャー等の機会を確保することで家庭医としての基礎力を養成しています。所属サイトが3つあるため、他施設で研修している専攻医同士の交流の場でもあります。

各施設で研修を行っている専攻医同士でお互いの成長を確かめ合う機会になっています。

また、プログラム内の指導医や外部講師のレクチャーが月に2回受けられることも特徴です。

10年を超える

プログラムの歴史と実績があります！

地域における家庭医療センターの役割が浸透しており、プライマリ・ケアを学ぶために必要な幅広い患者層に利用していただける診療セッティングとなっています。研修連携施設との相互理解により、一貫した全人的医療が実践できます。

静岡県は全国的にみても医師が少ない地域です。そんな環境下だからこそ、家庭医・総合診療医の力が必要とされます。行政や近隣施設と連携を取りつつ、「地域で患者さんを診る」ことが当プログラムの特徴であり、患者さんから頼りにされる理由です。

研修カリキュラム

ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年目	ローテーション	総合診療Ⅱ			小児科			内科			救急科		
	クリニック	Half-day Back											
2 年目	ローテーション	内科									総合診療Ⅱ		
	クリニック	Half-day Back											
3 年目	ローテーション	整形外科	産婦人科/ 総合診療Ⅱ		緩和ケア		総合診療Ⅰ						
	クリニック	One-day Back			週2~4コマの外来研修		週2コマの外来研修						
総合診療専門医受験資格													
4 年目	ローテーション	家庭医療Ⅰ											
	クリニック	週2コマの外来研修(精神科外来研修/皮膚科外来研修/泌尿器科外来研修/研修②)											
新・家庭医専門医受験資格													

※1コマ=半日

■上記はローテーション例であり、研修する時期は異なる可能性があります。(内容については変更ありません)

■4年間継続して所属先のクリニックにて外来研修を行います。

(Half day Back:1週間のうち半日/One day Back:1週間のうち1日 クリニックで外来・在宅研修)